

リーグ戦 第1週3月4日(曇り) 南農協グラウンド

①第1試合【1回戦】両チーム1分
遠藤 4番でハツツ! 2安打2打点
添田 右中間同点適時二塁打

●●● **2012年度リーグ戦開幕** ●●●

	(3)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(1)	計	安打
浜友	2	0	0	3	0	0	0	5	(6)
港南	4	0	0	0	0	0	1	5	(7)
	(2)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(2)		

二塁打: 尾野(浜友)
石川光・三橋・添田(港南)

港南				浜友							
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率
	三橋	3	1		.333		尾野	3	2		.667
	伊藤重	3	1		.333		丸山	2	1		.500
	持丸	3	1		.333		斉藤茂	2	1		.500
	添田	3	2	1	.667		遠藤	3	2	2	.667
	伊藤慎	2			.000		斉藤敏	2			.000
	石川光	3	1	2	.333		高橋鉄	1			.000
	窪田	2			.000		高須賀	2			.000
	弘中	2			.000		大西	2			.000
	丸木	2			.000		苗代	2			.000
	内藤	2	1		.500		近藤	2			.000
	水品	2			.000		有馬	2			.000
	高橋信	2			.000		久保田	2			.000
	栗原	1			.000		小林一	2			.000
チーム計		30	7	3	.244	チーム計		27	6	2	.298

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
高橋	3	4	0	2	4	持丸	3	3	1	2	2
有馬	4	3	2	3	1	石川	4	3	1	4	3
チーム計	7	7	2	5	5	チーム計	7	6	2	6	5

初回浜友は尾野が中前打。丸山の投前バントを港南先発持丸が一塁へ悪送球してその間に尾野が生還し1点先制、4番遠藤の中前打で2点目。その裏港南は浜友守備の乱れを突く。三橋の二ゴロ失後伊藤重が左前打し持丸の二ゴロを再び浜友近藤が悪送球して2点。添田が三ゴロ失で無死一・二塁から伊藤慎の遊ゴロと石川光の左中間二塁打で計4点と逆転。浜友は4回表港南二番手石川光を攻め尾野の左中間二塁打を丸山が送り石川光が暴投で1点後遠藤が中前打で2点目。さらに1点追加して5対4と逆転。終回港南は一死後持丸が左前打、すかさず盗した好機で4番添田が右中間二塁打で執念の同点に！なおも2死二塁の絶好のサヨナラ好機に石川光がまさかの敬遠球を打ち三邪飛で万事休す。しかし「ニュー・港南」チームの粘り強さが印象に残った！
(港：山田)

①第2試合【1回戦】浜翔1勝

浜翔猛打で圧勝
久保 先制V打&猛打賞3打点
岡崎 ダメ押し打を放ちMVP

	(3)	(4)	(0)	(0)	(5)	計	安打
浜翔	6	4	0	0	5	15	(12)
港	4	0	0	0	0	4	(5)
	(4)	(0)	(0)	(1)	(0)		

勝 塚田 1勝
敗 川崎 1敗

MVP: 岡崎 **V打:** 久保



なんだがピンボケです。PCでは綺麗に見えるのですけどねえ・・・

岡崎

3安打猛打賞
久保 恵(浜翔)

◆◆ **中筋氏追悼試合** ◆◆

港				浜翔							
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率
	後藤	1			.000		土門	4	1	2	.250
	井上	2			.000		菅	4	2		.500
	安藤	1	1		1.00		中路	3			.000
	吉田信	1			.000		犬塚	1	1		1.00
	川崎	2	1		.500		久保	3	3	3	1.00
	山田	2	1	2	.500		塚田	2	1	3	.500
	太刀岡	1			.000		館	3	2	1	.667
	中村	2	2	2	1.00		岡崎	3	1	2	.333
	野地	2			.000		福島	3			.000
	大矢	2			.000		橋本	3	1	1	.333
	富岡	2			.000		茜屋	2			.000
	鈴木謙	2			.000						
チーム計		20	5	4	.282	チーム計		31	12	12	.261

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
塚田	4	5	4	2	4	川崎	2	7	3	1	4
久保	1	0	0	1	0	鈴木謙	3	5	2	1	1
チーム計	5	5	4	3	4	チーム計	5	12	5	2	5

浜翔初回、港川崎の立ち上り制球難に付け入り3単打3四球で6点先制。楽な展開になるかと思われた、1回裏港の攻撃二死から4単打二四球で4点を返す。両エース不安な立ち上りに試合の行方が分からなくなった。しかし川崎2回も暴投や味方の失策にリズムわるく4失点。一方塚田は2回以降立直り4回まで投げ無失点に押さえる。浜翔5回、5単打に失策を絡め5点を取りだめ押し。港は2回以降内野安打1本では打つ手無し。両エースの立直りが明暗を分けた試合だった。両チーム安打が全部単打の計17本とちょっと珍しい試合だった(浜友：斉藤敏)

400安打達成
中村 利雄(港)

1回塚田投手から中前打を放って記録達成

1900イング達成 塚田 惣治郎(浜翔)
対港戦 先発3イング目で記録達成

⑤第3試合【1回戦】 湘南1勝

磯 足で掻き回し勝利に貢献

中塚 2安打デビュー

浜風 エラーで自滅

	(1)	(0)	(1)	(1)	(3)	(1)	計	安打
湘南	3	0	3	2	1	1	10	(7)
浜風	1	0	3	0	1	0	5	(8)
	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(0)		

勝 佐藤 1勝
敗 木原 1敗

MVP: 磯

二塁打: 磯・徳村・石川伸②(湘南)
青山・植木洋・石井(浜風)



こっちもピンボケ
データの処理方法が
悪いみたい・・・
申し訳ないです。

磯

◆◆ 白戸氏追悼試合 ◆◆

浜風				湘南											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
6	植木洋	3	2		.667	8	磯	2	2	2	1.00				
2	小林清	3	1		.333	7	四方田	4	1	1	.250				
8	青山	2	1		.500	6	石川伸	3	2	1	.667				
7	尾嶋	3	1	2	.333	2	池	4	1		.250				
5	石井	3	1	2	.333	3	徳村	3	1	1	.333				
9	脇坂	3			.000	5	西岸	2			.000				
DH	中塚	3	2		.667	1	佐藤	2			.000				
3	原田	3			.000	4	小林孝	3			.000				
4	玉木	2			.000	9	滝沢	2			.000				
1	木原	2			.000	DH	秋葉	2			.000				
チーム計				27	8	4	.216	チーム計				27	7	5	.286

※守備位置はスタート時

投手	回	安打	四球	三振	失点	投手	回	安打	四球	三振	失点
木原	3	2	2	0	6	佐藤	4	6	1	1	4
石井	3	5	3	0	4	石川伸	2	2	0	1	1
チーム計	6	7	5	0	10	チーム計	6	8	1	2	5

初回湘南磯の左前打と盗塁後内外野の3連続エラー等で3点をあげる。その裏浜風は小林清の左前打、青山の右翼線二塁打の1死二・三塁の好機を内野ゴロで1点返すに留まる。3回磯四球と二・三盗後四方田のスライズが内野安打となり1点。更に内野エラーと暴投等で2点を追加。その裏浜風は植木の二塁打で反撃ののろしを上げた。青山の四球・尾嶋が敵失で出塁し、石井の左越適時二塁打でこの回3点を返す。その後湘南は小刻みに得点を重ね、終わってみれば10-5。互いに7安打だが守備に差のついた試合となった。

(港南:久保)

◆中筋宏氏 逝く

入院先の平和病院で1月22日昼過ぎ奥様に見守られる中静かに息を引き取られました。

享年81歳

通夜 1月25日午後6時から

告別式1月26日午前8時30分から

港北区のメモワールホール都築でしめやかにいとなまれる。通夜、告別式には菅衆議院議員、長野から梅むら夫妻も駆けつけたのを始め会員も延べ80名が参列し故人との最後のお別れをした。

【経歴】

1982年(昭和57年)秋、第6期生として入部、以降チーム、クラブの主将、監督、運営委員長、会長を歴任

【生涯通算記録】

27年間皆勤 試合数702 打席1631 打数1396 得点191 安打292(二塁打27) 打点113 盗塁128
犠打飛55 四球180 三振137 打率.209 出塁率.299

追悼の言葉 ==小林一三六

中筋氏とは昭和57年秋に6期生として入部されて以来約30年の付き合いになりました。語れば一晩でも二晩でも尽きません。頑固一筋、一度言い出したら後へは引かず、入部から1昨年夏体調不良で検査入院、以降休部するまでの実に27年間一度も休むことなく長きに渡って前代未聞の皆勤する偉業を達成。その間会社の重役ポストも捨て、フォーティーズに魅せられ我が道を一直線、女房を泣かせ、親戚には迷惑を掛けるのも何の其の、平成10年太刀岡氏に委員長の座を譲って4代目会長に就任すると各方面に本領を発揮しフォーティーズを安定軌道に導くと共に、菅義偉衆議院議員、田野井一雄市会議員を強引に口説いて我クラブの顧問にお願いし、グラウンドも安定させる一方、毎年寿野球の参加の折宿泊する宿も女将が気に入ったからと定着させる。尚その寿野球では前々から一度やってみたかった悲願の大役「選手宣誓」。平成19年第32回目の大会本部からの依頼を断る訳が無い。即快諾、当日堂々の選手宣誓を披露し横浜フォーティーズの名を全国の中老年の野球仲間に発信する等多岐に渡って活躍されました。病の床の伏してから弱気になり、こよなく愛した梅むらにもう一度行きたいとの思いが叶って一旦回復に向かったとの知らせで、リーグ戦が終わったらりんご狩りを兼ねて行こうと決めるも。親戚の方の思いは同じで願いを叶えようと体調の良い日を見計らって梅むらに連泊し思い出の場所を車で移動、その無理が響いてか、又体調を崩されて我々の計画は実行できなかったが彼の願いは叶って良かったなあと思います。いろいろ中筋氏の面倒を見て頂いていた川崎義人氏が氏の体調の良い日10月2日南農協グラウンドに連れてきて頂き車椅子でバックネット裏から観戦したのが中筋氏の最後になってしまいました。今年の始め入院されたとの知らせを見舞った時もグラウンドはどうなっている、表彰式の手配は等最後までクラブの事を気にかけていました。帰りがけにイサムちゃんもう少し生きていたかったと涙を浮かべていた姿が脳裏からはなれません。これからはフォーティーズの行く末を天国から見守ってください。貴方の真心で人に尽くすその人柄に先生方を始め信州から梅むら夫妻も掛け付けて頂き多くの会員も最後のお別れをしました。どうぞ安らかにお休みください。ご冥福をお祈りいたします。

